

外国にルーツをもつ子どもたちへのキャリア教育

—自分のルーツを肯定的に捉えるアイデンティティ形成へとつなげるための教師の支援—

教育実践高度化専攻 地域・教育課題解決コース 外国人児童生徒支援系
氏名 (千代田 幸)

本修了報告は、外国にルーツのある子どもたちが、日本の学校での学びに対して積極的な姿勢をもつための教師の支援について試行したものである。本連携協力校は、外国にルーツをもつ子どもが散在している小学校である。本連携協力校では、外国にルーツをもつ子どもの存在を自然に受け止めることができているがゆえに、彼らに対して自分の「あたりまえ」を押し付けてしまう日本人児童の姿から、学級全体で違いを認め合い互いに過ごしやすい環境を作る必要性を感じた。そのため、学級全体でマイノリティの立場になる道徳科の授業実践を通じて、日本人児童の「ちがひ」に対する価値観を育成し、外国にルーツをもつ子どもたちのアイデンティティ形成に繋がるキャリア教育を行った。実践の結果、ともに学校生活を過ごす級友が外国にルーツをもつ子どものルーツを理解して接することができるためには、各学年の発達段階・子どもの様子に合わせた「違いを認め合うことの大切さ」をめあてとした道徳の授業が1つの手段として効果的であることが分かった。